

共同記者会見資料

2011年3月28日



ADVANTEST® +  VERIGY



最先端・高品質のグローバル
テストソリューションプロバイダー

エグゼクティブ・サマリー

買収条件

買収価格

- 普通株式1株当たり15米ドル(約1,215円^{注1})
- 買収総額は約11億米ドル(約909億円^{注1})

対価の種類

- すべて現金にて買収

プレミアム

- 公表前日終値に対して64%のプレミアム^{注2}
- 30日平均株価に対して67%のプレミアム^{注2}
- 60日平均株価に対して75%のプレミアム^{注2}

Verigy従業員 保有の株式等による報酬

- 権利行使日未到来のRestricted Share Unitsはクロージング日に権利日到来とみなす
- 既存のストックオプションについては、買収価格である1株当たり15米ドルを基準に、同条件にてアドバンテストのストックオプションに移行

買収成立条件

- Verigyの株主総会における承認
- 規制当局の許可
- その他一般的なクロージングコンディションの充足

ストラクチャー

- Verigyはアドバンテストの完全子会社として運営

(注1) 便宜上、米ドル・日本円の為替レートを1米ドルあたり81円(平成23年3月25日時点)として換算

(注2) 基準日は平成22年12月3日(アドバンテストからの買収提案(一株当たり12.15米ドル)をVerigyが開示した日)

1. 得意分野の補完性

- ✓ 半導体：
 - Advantest (DRAM、CPU、Digital Consumer)
 - Verigy (GPU、Wireless baseband & RF、Application Processors)
- ✓ 地域：
 - Advantest (日本、アジア)
 - Verigy (欧州、米州)
- ✓ 販売先：
 - Advantest (IDM、量産工程向け)
 - Verigy (ファブレス、ファウンドリー、OSAT、R&D向け)
- ✓ 顧客：
 - 両社の主要顧客の重複は少ない

2. 試験・計測における強いコミットメント

- ✓ 統合企業の技術を新市場、新製品に展開

3. 革新性

- ✓ 現在並びに将来にわたっての成長ドライバーとしての革新性が向上

4. グローバル展開

- ✓ 幅広く、かつグローバルに最先端テストソリューションを提供できる
製品ラインアップ
- ✓ ガバナンス、企業文化、アクセス、経営資源のグローバル化
- ✓ 人材のグローバル化が統合ビジョンを達成するカギ

5. 強固かつ安定的な財務基盤

- ✓ 顧客に対する長期的な取引関係を約束する強固な財務基盤
- ✓ 将来の下方サイクル時の耐性向上及び競争力の強化

統合のメリット

得意分野の補完性

より優れたテストソリューションの提供が可能に

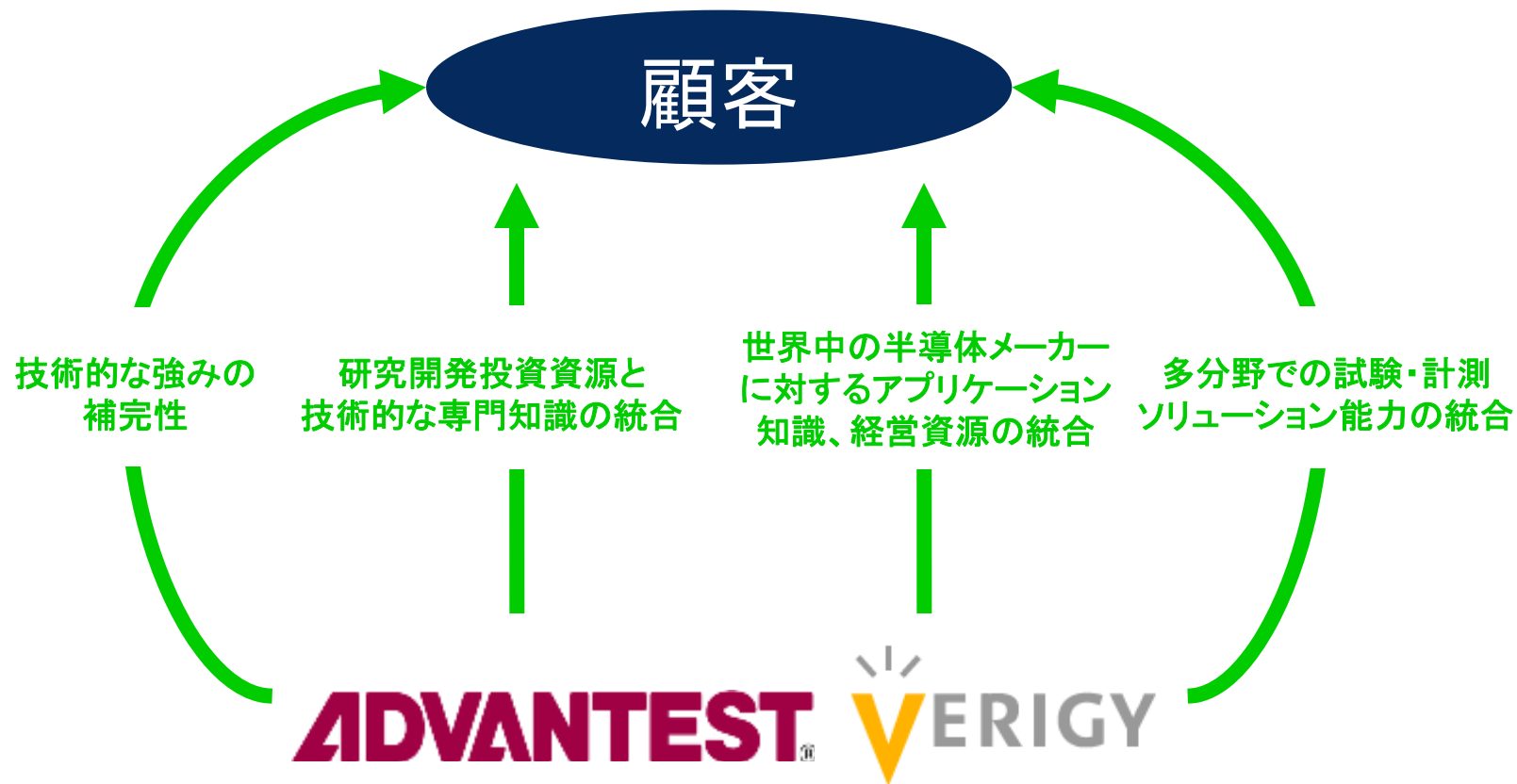
	DRAM		Flash		SoC			LCD	Image Sensor	Power IC	Other
	Front-End	Back-End	Front-End	Back-End	Digital	RF Mixed Signal	High-Speed				
Advantest	T53 Series	T55 Series	T53 Series T57 Series NPX	T53 Series T57 Series B85 Series	T2000 T65 Series	T2000 T65 Series	T2000 T65 Series	T63 Series	T85 Series T2000 ISS	T77 Series T2000 IPS	T7912 Handler EB Lithography CDSEM 3D Imaging Elec. Meas. Optical Sens. Probe Card
Verigy	V6000WS	HSM (2200/2300 /6800)	V6000WS V6000e	V6000FT V6000e	V93000	V93000	V93000				V101 Probe Card Other
Pro-Forma											

競争優位性あり

試験・計測における強いコミットメント / 革新性

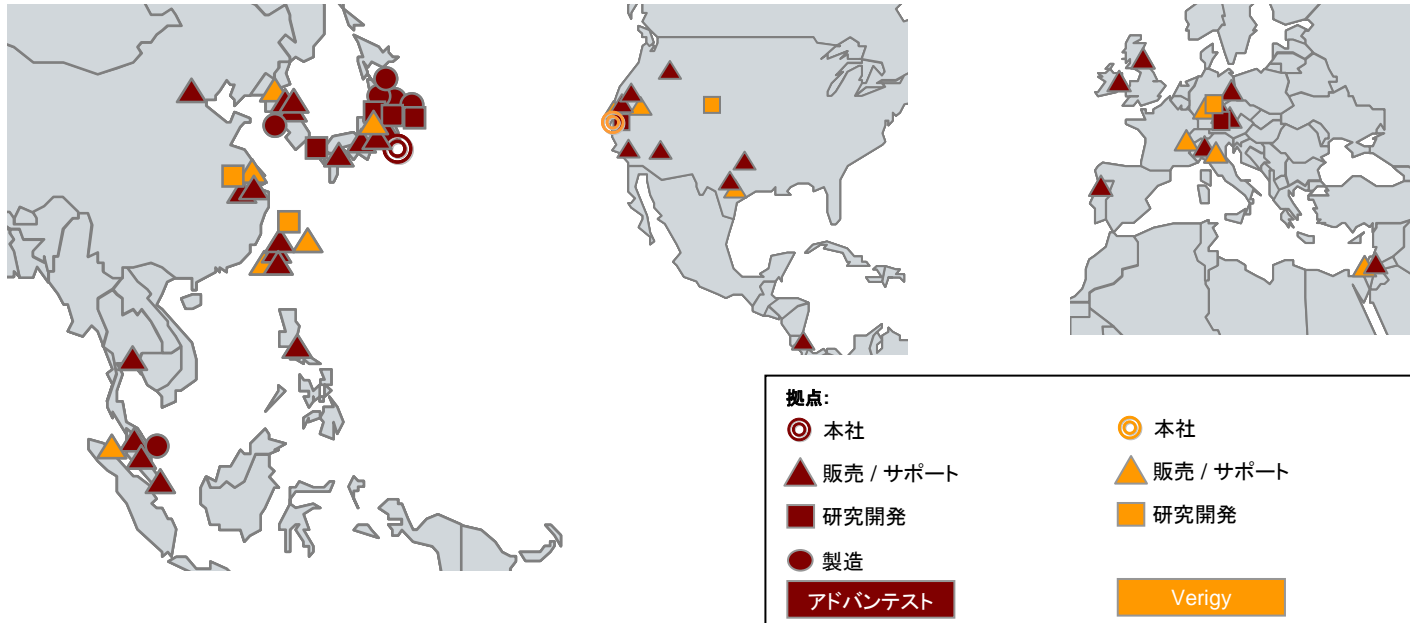
顧客は統合により多くのメリットを享受

顧客は統合による多くのメリットを享受
(革新的なテストソリューション / 高品質のカスタマーサポート)



包括的かつグローバルな体制

世界中の顧客に対し優れたサービスを提供



職能	アドバンテスト (1) (2)		Verigy (3) (4)		プロフォーマ
セールス	246	+	72	=	318
カスタマーサポート	731	+	511	=	1,242
製造	579	+	146	=	725
研究開発	1,139	+	375	=	1,514
その他(アドミ等)	456	+	361	=	817
合計	3,151		1,465		4,616

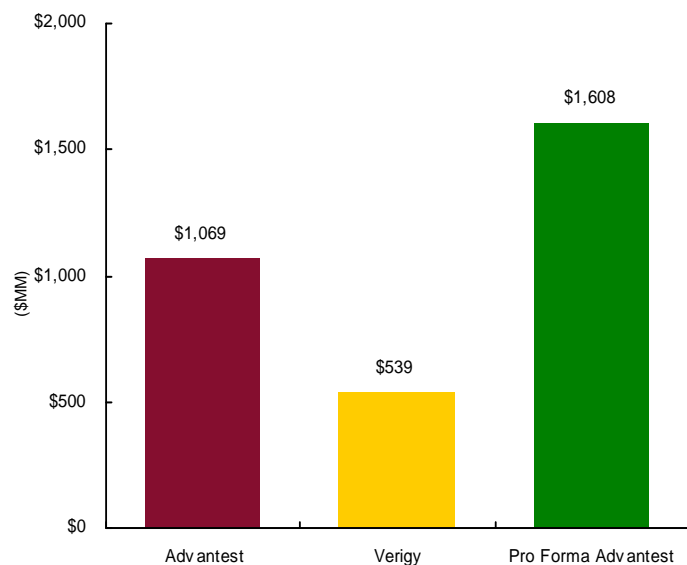
注:
 (1) 数字は2010年3月時点
 (2) 出所: 20-F
 (2010年6月25日提出)
 (3) 数字は2011年1月時点
 (4) 出所: 会社マネジメント

✓ グローバルベースで多岐に渡る事業展開及び顧客への優れたサービスの提供が可能

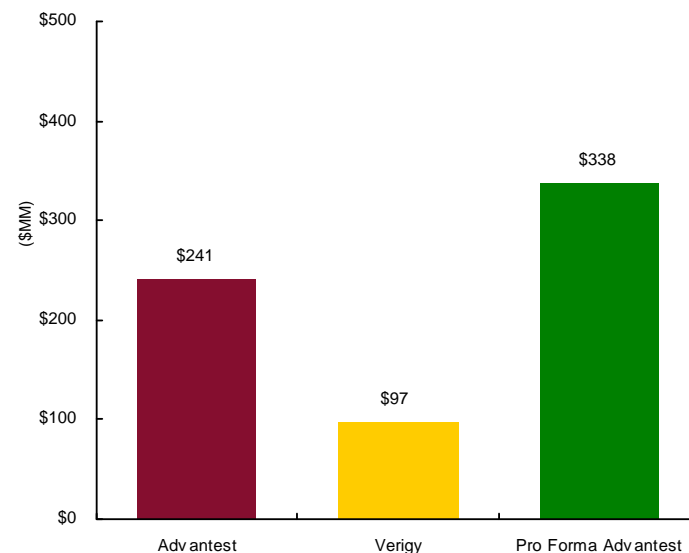
強固かつ安定的な財務基盤

顧客に対して長期的な取引関係を約束

直近12ヶ月売上高 (1)(2)(3)



直近12ヶ月研究開発費 (1)(2)(3)



- ✓ 統合企業は多様かつ広範な収益源を確保
- ✓ テクノロジー進展・イノベーション牽引のための研究開発予算は増加が見込まれる
- ✓ 顧客との長期的な取引関係の構築を可能とする財務基盤の安定

注:

- (1) 1米ドル=81円 (2011年3月25日時点) にて換算
- (2) 出所: 2010年12月31日時点のアドバンテスト公表資料
- (3) 出所: 2011年1月31日時点のVerigy公表資料

結論

1. 両社技術の相互補完により、全てのメモリとSoC分野において、より幅広く充実したテストソリューションの提供が可能
2. 試験・計測分野への強いコミットメントに裏付けられたグローバルな販売体制とアプリケーション知識
3. トップクラスのグローバルIDM、ファブレス、ファウンドリー、OSAT顧客に対して強いプレゼンスを発揮
4. イノベーションの加速を可能にする研究開発投資余力の拡大
5. 統合ビジョンを達成するためのガバナンス体制、企業文化、アクセス、経営資源のグローバル化
6. 顧客との長期的な取引を支える強固な財務基盤

追加情報ならびにその開示について

- 2011年3月28日、アドバンテストとVerigyは、両社の事業統合に関する最終契約に合意しました。本件買収に関連し、Verigyは米証券取引委員会 (SEC) に株主総会招集通知・委任状説明書 (proxy statement) を提出し、当該通知はVerigyの株主に送付される予定です。株主総会招集通知・委任状説明書には、Verigyや本件買収に関する重要な情報が記載される予定であり、Verigyの投資家ならびに株主におかれましては、当該通知が閲覧可能となり次第、内容を確認されることを強くお勧め致します。当該通知(閲覧可能となり次第)、およびその他アドバンテストまたはVerigyによるSEC届出資料は、SECのウェブサイト上 (www.sec.gov) から無料で入手することが可能です。また、アドバンテストまたはVerigyによるSEC届出資料は、アドバンテストの広報・IR課 (e-mail: satsuki.tsuruta@jp.advantest.com、電話番号: +81-3-3214-7570) またはVerigyのインベスター・リレーション宛 (e-mail: judy.davies@verigy.com、電話番号: +1-408-864-7549) への連絡を通じて無料にて入手することが可能です。投資家ならびにVerigyの発行証券保有者の皆様は、本件買収に関し何らかの意思決定を行う前に、株主総会招集通知・委任状説明書及びその他関連資料を精読することを強くお勧め致します。
- アドバンテスト、Verigy、ならびに各社の取締役や執行役員は、本件買収賛成投票勧誘に参加しているとみなされます。本件買収に関与するとみなされるアドバンテストの取締役及び執行役員については、アドバンテストのSEC届出書類(2011年3月22日に提出されたSchedule 14A) に記載されています。Verigyの株主総会招集通知・委任状説明書には、Verigyの取締役及び執行役員、ならびに本取引に関する各人の利害について記載される予定です。Verigyの取締役および執行役員に関する追加情報は、VerigyのSEC届出書類(Form 10-Kおよび2011年2月25日に提出された修正年次レポートForm 10-K/A) にも記載されています。2011年2月14日時点において、Verigyの取締役及び執行役員は約1,988,016株(発行済普通株式の3.3%に相当)のVerigy株を保有しています。これらの書類は、SECのウェブサイト上(www.sec.gov) から無料で入手することが可能です。また、アドバンテストおよびVerigy各社の上記コンタクト先から入手することも可能です。

将来予測に関する注意事項

- 本プレゼンテーション資料には、「将来見通しに関する記述 (forward-looking statements)」(米国1995年私的証券訴訟改革法(the Private Securities Litigation Reform Act of 1995) 中のセーフハーバー条項に規定される意味を有する)に該当する情報が記載されています。これら将来見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づくアドバンテスト、Verigyならびに各社取締役の予想や意見です。将来見通しには多くの要因および不確実性が内在しており、実際の結果がかかる将来見通しに関する記述と著しく異なる可能性があります。将来見通しに関する記述には、本件買収にかかる期待利益や想定コスト、将来の事業運営計画やその戦略と目標、ならびに本件買収クロージングにかかる記述などが含まれますが、これらに限られるものではありません。過去の事実に関するもの以外の記述(「確信している」「そうであるべきである」「予定している」「想定している」「期待している」「推定している」、およびその他の類似表現が含まれる表現等)は、将来見通しに関する記述とみなされます。将来見通しに関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性、予測困難な仮定を含んでおり、正確ではないかもしれない将来の事実についての推定に基づいています。従って、実際の成果や結果がここに記載されている内容と大きく異なる可能性があります。とりわけ下記に記載する要素は、実際の結果を将来見通しに関する記述と大きく異なるものとする可能性があります。Verigy株主総会における本件買収の承認が可決されないこと、本件買収に関する独禁当局からの承認または第三者からの同意が得られないこと、その他クロージング条件が充足がされないこと、クロージング、組織統合、再編、そしてアドバンテストとVerigyの経営統合におけるシナジー効果を実現するにあたっての課題やコスト、重要な従業員の雇用継続、ならびにその他アドバンテストおよびVerigyの事業全般に影響を与えうる経済状況、事業環境、競争環境、規制環境等の要因 (特にアドバンテストのForm 20-FやForm 6-Kのリスク・ファクター (Risk Factors) セクション、VerigyのForm 10-K、Form 10-Q、Form 8-K等のリスク・ファクター (Risk Factors) セクション及び財務状況及び事業運営結果に関する経営陣による議論及び分析、並びに各社その他のSEC届出書類に記載されている事項を含む)等です。アドバンテストとVerigyは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予測に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。(当該義務に関しては明確に否定します)